

アカアマダイの卵発生と人工飼育した仔稚魚の発育

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 奥村, 重信, 今泉, 均
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014466

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



アカアマダイの卵発生と人工飼育した仔稚魚の発育

奥村重信・今泉 均

アカアマダイの受精卵から稚魚までを水槽内で飼育した。受精卵は平均卵径が約 920 μm で油球 1 個を有する分離浮遊卵であり、水温 20°C では媒精後 40 時間頃からふ化が始まった。飼育魚の平均全長はふ化後 10 日目で約 3 mm、25 日で約 6 mm、60 日で約 24 mm であり、従来の知見より成長が早かった。人工飼育した仔稚魚の全長に対する体高、頭長および肛門前部長の比率と、成長に伴う変化は天然魚と変わらなかった。すべての鰭条が定数に達するのは全長 10 mm であり、既知の天然魚や人工飼育魚の結果とはほぼ一致した。

栽培技研, 25(1), 53-58, 1996